



第62号
発行 筑紫丘高校同窓会
福岡市南区野間2-13-1 〒815-0041
電話092(561)0662
FAX092(561)0663
ホームページ http://www.chikushigakka-dousokai.com/
印刷 西日本新聞印刷



同窓会HP
「QRコード」

人材育成の90周年祝い 100周年へ発展願う

秋分の日に記念式典



母校の創立90周年記念式典が秋分の日(9月23日)午前10時から、厳粛な雰囲気の中、講堂で開かれた。約1540人が出席し、人材育



厳粛な雰囲気の中開かれた創立90周年記念式典

成に励んできた90周年を祝い、創立100周年を展望した更なる発展を願った。



会長あいさつ

会長 生田 征生(高15)

世界へ飛び出す人材に

創立90周年、おめでとうございませう。

昭和2年に筑紫中学として発足以来、建学の精神である「筑紫魂」を受け継いだ人材を本校は世に送り出し続けてこられました。福岡に筑紫丘高校ありといわれるような高い評価を得た母校をわれわれ卒業生、同窓生は誇りに思っております。

同窓会は会員の絆を深め、母校の発展に寄与するという役割のために尽力をしております。同窓会は中学、高校、定時制課程の卒業生3万7千人を超える人々があります。社会のいろんな分野には法律、教育、医療の分野、さらにはスポーツ、芸能、芸術、メディア、金融、行政といった分野で活躍されています。組織としては本部のほか、都市圏、首都圏、関西などの

校長 あいさつ 「正義」刻み、未来を拓け



校長 早野 祐子

創立90周年記念式典をかくも盛大に挙行できますことは、本校にとりましてこの上ない喜びであります。

記念式典を迎えるに当たり「創立記念誌」をひもとくと、そこには本校の歴史が刻まれています。深く胸を打つ文章に巡り会いました。本校の初代校長である生田徳太郎先生が退職の日に、生徒に語られた言葉です。

「私は本校創立の時、諸君は将来皆社会に立ちて立派な人材となつて、筑紫中学をして、人物輩出の名所にしなければなりません。」

ればならないと申しました。爾来9年間、校庭に植えた桜の木は年一年と成長して花の誇りを増しております。学校も社会の認識が高まって、花の色や香りを慕って校門に集まる者も年々増してきております。筑中今後の発展は一人の生田校長の願いは、お一人のものではなく、3万7千名を超える卒業生、学校の設立と発展を支えた全ての方々の思いが凝縮されたものです。その崇高な精神と多大なご苦労の上に、今日の私たちがあることを忘れてはならないと思ひます。

高」であるために、学舎の灯を明々と掲げ、次の世代に譲り渡してください。君たちにとって永久不変のよりどころとなる「筑紫魂」を示し、高らかに歌い上げたものが、校訓・校歌でありま

100周年に向け、新たな一歩



平成30年度総会実行委員長 青山 崇徳(高41)

私たちが高校41回生は、昨年開催された母校創立90周年の盛会に感動し、来嶋一道平成29年度総会実行委員長から禪(たすき)を受け継いだ瞬間に思いを新たにいたしました。準備を進めていく中、同級

生と定期的集まり痛飲する度に、あのころに戻る不思議な感覚や忘れていた筑高魂を思い出しています。高校時代あまり会話もしていなかった同級生や顔と名前が一致していなかった同級生もいました。6月3日の定期総会の役目を終えた後「同窓会ロス」になる心配すらあるこのごろ。当番幹事という機会をいただいたことに感謝しています。

そこで、今年のテーマを「つむぐ THE START OF DECADE FOR THE 100TH」とさせていただきます。本年度の定期総会を母校100周年に向けた新たな一歩ととらえ、たくさん先輩に培っていただいた筑紫丘高校への大切な想いを、私たちなりのやり方で紡いでいきます。

在校生ら青春の1ページ刻む

母校の創立90周年記念事業は昨年9月の記念式典をピークに多彩に展開された。文化、スポーツ、海外研修などに筑高生らは懸命に取り組み、節目の年に青春の1ページを刻んだ。



記念式典で筑高サウンドを披露する吹奏楽部の生徒たち

吹奏楽部定期演奏会

1200人が鑑賞 90周年式典でも披露

昨年8月11日、アクロス福岡シンフォニーホールで、吹奏楽部第48回定期演奏会を開催しました。1200人近くの方々にご来場いただきまして、ご支援、ご協力、そしてご来場いただいた皆さまに心より御礼申し上げます。

恒例のOB合同ステージは、現役81人に43人の卒業生も加わった大編成で、華やかな筑高サウンドを3年ぶりのアクロスホールに響かせました。終演後のOB会の打ち上げには、高校16回生のタモリ(森田一義)先輩も参加されて大いに盛り上がり、改めて吹奏楽部OB会(筑吹会)の伝統と結束力の強さを実感する一日となりました。

9月23日の創立90周年記念式典では国家・校歌の伴奏のほか、式典後に2曲を披露しました。校歌斉唱ではいつも増して荘厳かつ壮大な歌声が講堂内を埋め尽くしました。改めて本校の校歌の偉大さを肌で感じるとともに、吹奏楽部としてこの大きな感動の一翼を担えたことに何にも代え難い喜びと誇りを感じました。部員とともに、この経験をこれから部活動に生かしていきたいと思えます。

(大石純子教諭 高35)

記念大運動会

光明さらに輝かせ

運営委員長 2年 田村結花

あの大運動会のことを、私は昨日のこのように思い出します。今年のテーマは「立心光明」。筑高生の思いが力強く輝いてほしい、光明を放つてほしい、そんな願いが込められていました。まさに、筑高生が光明を放つ熱い大運動会だったと思います。それは、みんながリーダーズを中心として、練習や準備を重ねてきたから。それでも、きっとその中に多くの衝突や困難があったと思います。しかし、どんな時でもみんな同じ目標を見ていました。「最高の思い出をみんなとつくりたい」という思い、各ブロックが少しずつ、でも着実に乗り越えてまわり、私たちが筑高生だからこそできる大運動会になったと思います。

私が運営委員長だった3か月。90周年というプレッシャーに押しつぶされそうになり、困難にぶつかり、何度もくじけそうになりました。その度に運営委員の仲間や友だち、そしてリーダーズをはじめとする先輩方が何度も私を立ち上げてくれました。最後までやりきることができたのは、紛れもなくみんなのおかげです。今年も90周年を記念して新たな挑戦も行いました。伝統を引き継ぎながらも新たな伝統を創造するまさに「剛健 叡智 創造」と筑紫丘のすべてが詰まった運動会になったと思います。私たちがこれから大運動会での光明をさらに輝かせていきます。筑高生のみんなと90周年という年に大運動会で輝けたこと、支えてくれたすべての人に感謝します。ありがとうございました。



大運動会で披露する女子のダンス



大運動会で披露する男子の筑高体操

秋晴れの昨年9月9日行われた。70回目の今回も、筑高生の優れたパフォーマンスを披露し、参観者に感動を与えた。全校応援では生徒全員で旧制筑紫中学校の校歌1番を斉唱しながら、歌詞の一部を人文字パネルで表した。

記念試合

ラグビー部は 山口に快勝

ラグビー部、サッカー部、男女バレーボール部の記念試合が昨年9月17日、本校で実施される予定だったが、台風18号の接近に伴い、いずれも延期を決定。台風一過の秋晴れとなった敬老日の9月18日、ラグビー部の試合があった。

相手校は強豪の山口県立山口高。副校長のあいさつ、ペナント交換、記念品贈呈などセレモニーの後、キックオフ。今年も創立90周年という節目の年。準備期間も非常に短い中、各クラス、各文化部、そして筑高生全員が一致団結し、1日目には、各学年イベントのほか、来たる創立100周年に向けて筑紫丘の新たな伝統を作っていくと全校での人文字に挑戦しました。完成したときは筑高の結翔(結晶)を感じました。2日目の一般公開では、たくさんの方々にご来校いただき、どの会場にもぎわいました。翔丘祭を迎えるまで、決して楽な道ではありませんでしたが、運営委員をはじめ先生や多くの筑高生に支えられました。1人ではできないことも仲間と力を合わせれば成し遂げられる。人と人とのつながりの大切さを、改めて学ぶことができました。私は先輩方の姿にあこがれて運営委員長になりました。先輩のようにカッコイイ姿を後輩に見せることはできませんでしたが、1人でも多くの先輩が、熱い思いを胸に翔丘祭をより良いものにしていくことを期待しています。

翔丘祭

全校人文字に挑戦

運営委員長 3年 竹田匠吾

今年も創立90周年という節目の年。準備期間も非常に短い中、各クラス、各文化部、そして筑高生全員が一致団結し、1日目には、各学年イベントのほか、来たる創立100周年に向けて筑紫丘の新たな伝統を作っていくと全校での人文字に挑戦しました。完成したときは筑高の結翔(結晶)を感じました。2日目の一般公開では、たくさんの方々にご来校いただき、どの会場にもぎわいました。翔丘祭を迎えるまで、決して楽な道ではありませんでしたが、運営委員をはじめ先生や多くの筑高生に支えられました。1人ではできないことも仲間と力を合わせれば成し遂げられる。人と人とのつながりの大切さを、改めて学ぶことができました。私は先輩方の姿にあこがれて運営委員長になりました。先輩のようにカッコイイ姿を後輩に見せることはできませんでしたが、1人でも多くの先輩が、熱い思いを胸に翔丘祭をより良いものにしていくことを期待しています。



記念試合でスクラムを組みラグビー部のフイフティーン(右)



書道部の力作が来校者を歓迎する翔丘祭

最後に、翔丘祭を支えてくださいました、すべての方々に厚く御礼申し上げます。

第70回翔丘祭は昨年5月12日(金)、13日(土)の2日間行われました。12日は校内行事、13日は一般公開。どの作品や企画も力作ばかりで見応え、聞き応えがあり、例年以上の盛り上がりを見せた。

首都圏同窓会、会場変更へ

参加者増で雅叙園にお別れ 支部長連絡会で報告

同窓会定期総会に先立ち同日6月3日、7回目となる支部長連絡会が開かれました。各支部の報告要旨は次の通り。

【首都圏】 首都圏支部同窓会の会場はこれまで「雅叙園」だったが、参加者が右肩上がりに増え手狭になったことから、今年会場を変更せざるを得ない。これに伴い会費の改定も検討する。

【関西】 登録会員は797人に増えたが、若年会員の把握が厳しい。支部役員は年齢構成の適正化を進めていきたい。支部資料のデジタルアーカイブ化も同時に進めたい。

【天分】 5月20日に総会を開催。12人の参加があった。会員情報の把握に苦慮している。

【熊本】 一昨年は熊本地震のために総会は開催できなかった。昨年は6月18日に開くことができた。

【宮崎】 名簿上は会員74人。今年は7月に総会を開催予定だ。

【北九州】 名簿上は会員約200人。約150通郵送して返事が来るのは約100通。総会参加者が例年30人くらいなので50人くらいにはしたい。

【筑豊】 欠席(昨年の総会)は4月8日に開催

多彩に90周年記念事業

海外派遣研修

レイク典子教諭

創立90周年を記念して、昨年7月20日(木)～25日(火)の6日間、14人の生徒をオーストラリア・パースとシンガポールに派遣することができました。

豪州とシンガポールへ14人 苦勞、刺激が財産に

参加生徒たちは企業訪問、ホストファミリーとの交流、観光地訪問などを通して、両国について深く知りました。現地で活躍、生活されている日本の方の話からも多くを学び、刺激を受けました。シンガポールの学校では全校集会と授業に参加、勉強



豪州パースに到着した筑高生たち

ていた。留学なんて考えてもみなかったが、いつかしてみようと思った。この研修は将来の進路決定の大きなきっかけだと思う。この経験を忘れずに今後の学校生活を送っていく、何らかの形で学校に還元していけたらと思う。(山下雄世)

○新しい発見と多くの出会いがありました。海外について知りたいことが研修以前よりも多くなりました。

絆守り母校90周年祝う



平成29年度同窓会定期総会実行委員長 来嶋 一道(高40)

平成29年度同窓会定期総会は昨年6月3日、私たち高校40回生が当番幹事となり、無事開催することができました。今回は母校創立90周年の節目の年であり、「丘絆守護」をテーマに多数の同窓生が全

「夢あれば何でも」 実業家植松努氏訴え



創立90周年記念講演は昨年6月12日、本校講堂で行われた。講師は「下町ロケット」

東京研修を受け入れ 三井不動産企業訪問

中村 志輝(高65)

筑紫丘高校東京研修のプログラムとして企業訪問が昨年8月2日、行われました。筑高OB・OG12人が在籍する三井不動産も約20人の生徒の訪問を受け入れました。

参加したのは2、3年生の希望者14人と引率教諭2人。研修は多岐にわたり、企業訪問、高校・大学訪問などのほか、福岡県人会との交流もあった。



東京・日本橋の福德神社で記念撮影する筑高生たち



松葉屋のおばちゃんへの感謝状

毎日通る松葉屋の店先に閉店の張り紙を見つけた。筑高生であふれていましたね。白い割烹(かつぼう)着のおばちゃんは、四方八方からの「おばちゃん」の呼び声にきばき反応し、注文したジュースの栓を手際よく抜いてくれたのを覚えていました。

おばちゃん以上に、長い間筑高を見守ってくださった方はいないでしょう。どれだけ生徒がおばちゃんの店の前を通り、丘を上がり、そして下っていったことでしょうか。部活帰りの生徒は、おばちゃんの店でジュースを飲んで帰るのをどれだけ楽しみにしていました。

おばちゃん、こと宿里レイ子さん!!写真。温かい思い出をありがとう。筑高を見守ってくれてありがとう。長い間頑張ってくれてありがとう。いつまでもお元気で。

(福田暁子教諭 高32)

校舎全面改築 3月末までに県が基本構想

100周年記念事業である校舎全面改築は今年度、基本構想費の県予算が認められ、29年8月には「筑紫丘高校大規模改築事業基本構想検討委員会」が発足。4回程度の会議を経て30年3月末までには基本構想がまとまる予定です。

気迫前面に5人抜き 玉竜旗女子で敢闘賞 剣道部2年 須田あすか 昨年7月24、26日に行われた玉竜旗高校剣道大会女子の部に出場しました。玉竜旗は



須田あすか

日本全国から高校剣士が集う、特別な試合です。他の大会とは違い、勝ち抜き戦です。一昨年もこの大会に先鋒として初出場しましたが、玉竜旗の雰囲気にもまれてしまい、思うような試合をする

ことができませんでした。2回戦敗退でした。その後、いくつかの

試合を経験しましたが、そのたびに「気持ちでは負けない。気迫で勝つ」ということを心掛けてきました。今回は「今年こそ」という強い気持ちで試合に臨みました。一昨年同様、先鋒として出場、5人抜きができました。敢闘賞をいただき、とてもうれしかったです。チームも4回戦に進出し、ベスト6という結果でした。これからも一所懸命に稽古(けいこ)に励んでいきます。

プロ写真家の登竜門で最高賞 カメラ始めて6年

春日市の増田俊次さん(高21)

春日市の会社役員増田俊次さん(66≡高21)が、プロ写真家の登竜門といわれる平成29年の「JPS展」(日本写真家協会主催)で最高賞の文部科学大臣賞に輝いた。カメラが趣味の妻哲子さん(64)に刺激を受け、写真を撮り始めて6年での栄誉。「まさか



「年齢を重ねた老人たちの手を通して、信仰の奥深さを表現してみた」という。写真撮り始めたのは東日本大震災のあった23年。還暦を迎え、ゴルフとは別に老後も続けられる趣味はないかと考えていたとき、新発売のレトロなデザインのデジタルカメラにひかれた。早速購入したのがきっかけ。スペインで撮った一枚は、街の本屋の主人と飼った犬が店先で暇そうにしている光景。

「退屈な店番」と題し、翌年の24年に福岡市美術館に初めて応募すると入選。さらに西日本新聞が読者から毎月募集する「マイ傑作ショット」で2カ月連続特選。「まさにビッグナイス・シュート。これですっかり写真にハマってしまっ

た。それ以来、夫婦2人の写真展を3回開いたほか、数々のコンテストで受賞した。一般部門に計5940枚の応募があった今回のJPS展の最高賞はその延長にある。29年5月に東京であった表彰式で、増田さんは「良きパートナーであり、良きライバルである妻の存在なくして受賞はなかった。心から感謝しています」とあいさつした。

人生の節目で写真を始めたときのドキドキ感や入賞した時の達成感を満喫しているという。「これからも妻と2人で切磋琢磨(せつさたくま)しながら、彩り豊かな人生を送りたい」と笑顔で語る。

「高校18回生 古稀同窓会」を終えて

岡部 恭之(高18)



140人超の仲間が集まった「18回生古稀同窓会」

「高校18回生 古稀同窓会」を昨年10月1日、ホテル日航福岡で開催しました。開催までの1年間、14人の準備委員会で17回の会議を持ちました。メンバー全員「同窓会を多くの友と開催したい」という一念でやってきました。会議の後は決まってミニケーションで楽しい時間を過ごし、同級生はいいなあ」とつくづく感じました。会う度に旧友の新しい側面を発見でき、友情の輪が広がる気が

いたしました。開催準備はみんながアイデアを出し合い、段々と熱を帯びました。それぞれにいろいろな才能がありました。開催日が迫るにつれ、開催の情報も広がりをみせ、多くの友人に連絡がいくよくなりました。かけがえのない友と出会い、筑高の同級生だけの絆、縁がこんなにも重いものか知らされました。私自身、無限の心の財産を頂きました。

いざ開催してみると、146人が駆けつけてくれ、大変な盛り上がりでした。それぞれの顔に懐かしさと笑顔があふれて、みんな高校時代にタイムスリップした光景でした。たった3年間でしたが、青春の大切な時期、共に過ごした思い出は「人生の宝」と強く感じました。

くしくも母校創立90周年に古稀を迎え、10年後の傘寿の時、創立100周年と相成り、母校とのたぐらぬ縁を感じ、筑高同窓生の絆を大切に

小林豊司(高32)

みずほ銀行頭取就任を祝う

平成29年4月、みずほ銀行頭取に就任した藤原弘治君は、高校32回生で水泳(球)部の同期。私は家庭の事情もあり2年の途中で退部を申し出たものの、競泳のリレーメンバーが足りない時や、水球部恒例の寒中水泳には、来なくていいのに(笑)彼をはじめとする同期の連中がニコニコして誘いに来て、学食でこれでもかという位に唐辛子をかけた素うどんをかき込んだ後、気合いもろとも雪がちらつく極寒のプールと一緒に泳ぎ、苦楽を共にした仲間です。その彼が、当時の懐かしい笑顔のまま、創立90周年記念の東京での筑紫丘高同窓会総

会の当日にあった32回生の2次会に、忙しい合間を縫って1時間近く参加してくれました！部活の仲間含め同期20人以上が集合。スキートの国体選手(水球も選抜メンバー)にも選ばれた彼が、志賀高原での我々の修学旅行で上級者用の急斜面で華麗なデモンストラクションを披露してくれたこと、高校時代は勉強に苦労したこと、丘の上で同じ時を過ごした仲間ならではの微笑ましいエピソードなど、思い出話に花が咲き旧交を温めることができました！忙しい中、顔出してきてくれて皆、感謝です！ありがとー！！

藤原弘治君です。筑紫丘高校は、自由、そして挑戦と創造の意欲にあふれた学校。最高の仲間と出会い素晴らしい環境で過ごした日々は青春時代の大切な宝物です。日本守護、日本開拓、日本創造。これからも後輩たちの目標となるよう頑張ります。

私自身は学生と独身の時に3年ほど福岡を離れていたが、この街の良さを痛感している。家庭内では今年大学院に進んだ息子がまもなく就活に入る。福岡を離れるのか、地元のか、会社に縁があるのか。進学や結婚と同様、大きな「ギャンブル」ではあるが、先は見えない。親の気持ちとしては、すぐ顔が見られる方がよいのだが、後は子どもの「付度(そんたく)」に期待するしかないよ

宴座

定年が過ぎて、もうすぐ2年がたとうとしている。幸いなことに、会社の中に居場所があるので、何不足ない毎日を送っている。今年になって、同級生が2人福岡に帰って来た。1人は娘2人と首都圏で暮らしていたのだが、同級生でもある奥さんの元へ戻った。天国から地獄かもしれない。その逆かもしれないなあ。もう1人は再雇用契約を破棄して、しかし奥さんと娘2人が住む東京を離れ、単身で福岡へやってきた。「余生は福岡で」という熱い思いだそう

丘女会イベント

「まちがいだらけのセクハラ常識」

牟田阪大教授(高27)が講演会

丘女会第5回イベント「卒業生による講演会」が昨年10月7日、筑紫丘高校視聴覚室で開かれ、10月初旬とは思えない暑さの中、100人を超える参加者が耳を傾けました。

今回の講師は社会学者の牟田和恵・大阪大教授(高27)。「まちがいだらけのセクハラ常識」という演題で、エネルギーで楽しい話がありました。

牟田教授は「セクハラとまではいなくても、世の中にはまだまだ女性であるがゆえに生きづらい部分も多いかと思いますが、その背景には社会に古くから根付いてきた意識や、形成されてきた言語なども関係しています」と話され、高校時代の楽しいエピソードを交えて分かりやすく解説していただきました。



参加者からは「勇気をもらった」「目からウロコだった」など、たくさんの感想が寄せられました。

今回は託児サービスを行い、利用者から喜ばれました。

「OKAME STYLE」創刊！

丘女会はこのたび、広報誌「OKAME STYLE」を創刊いたしました。さまざまな分野にチャレンジし、活躍している筑紫丘高校の女性卒業生を在校生や同窓生の皆さまにご紹介、情報提供することで身近に感じていただき、進路や生き方を考える参考にしていただければと願っています。

年2回発行する予定です。丘女会は今後も女性たちのチャレンジを応援していきたいと思ひます。

丘女会会長 原田ゆみ子(高20)

素敵な女性卒業生を紹介ください！

創刊号では、5回生の作家・翻訳家馬場与志子さん、32回生の銀行管理職岡野みゆきさん、35回生の弁護士村上尚子さん、55回生の舞踏家西園美彌さんの4人をご紹介します。今後の紙面に登場いただく方を随時募集中です。自薦、他薦どちらでも構いません。「こんな素敵な人がいます」という情報をぜひお寄せください。お待ちしております。

丘女会広報委員長 小川訓名(高36)

連絡先：同窓会事務局

oka.dousoukai@gmail.com



水球部の仲間と旧交を温める藤原弘治さん(中央)

- ① 林 武夫(旧職員)
- ② 江田 博(高20)
- ③ 篠塚 武久(高16)

(高26 中山利明)